

【衆院経済産業委】

中国のE E Z無断調査、対応は

富田 茂之氏 (公明・比例南関東)



富田議員は、日本の排他的経済水域(E E Z)内で中国が行ったとされる海底熱水鉱床などの無断調査について、政府としての対応をただした。

外務省「調査事例数々ある」

富田議員は、海洋エネルギー・鉱物資源の活用のためには「人材、インフラの強化、国際連携の取り組みも欠かせない」とした上で「中国の研究者が2007年以降、少なくとも30本の論文で(E E Z内での調査に)言及していたというが、日本の同意は」と質問。外務省は、論文を把握し「中国側に説明を求めている」とし「実際に中国船舶がE E Z内で調査を行っている事例が数々ある。日中間の相互事前通報の枠組みに基づかない問題のある調査も含まれ、極めて遺憾。外交ルートを通じ抗議した」と答えた。